

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら蒲生第3教室 保護者等数(児童数) 15 回収数 11 割合 75 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11				広いと思う 走り回れるスペースが確保されている	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10			1	丁寧に関わっていただいている よく覚えていないため開示して欲しい 正しい行動ができるよう、誉めながら進めている	年度が替わり改めて職員紹介をさせていただきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		4	設備が整っている 室内に段差がない	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11				子どもの性格に合わせて手厚く対応している 子供たちの特徴をよく分析されている	利用者の様子などを日々分析しより良い計画が立てられるよう努めさせていただきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8	3			いろいろな活動を通して意外な子どもの発見がある いろいろな場所に連れて行って日々を楽しむよう工夫していると思う 毎日プログラムに変化がある	あえて固定化しているもの(今日の様子などを知る為)ありつつ、 利用者のニーズ(興味のあるもの)を取り入れ イベントごとを今後も計画していきたいと思 います。 また夏休みにやりたいことをできるかぎりかな えられました。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	2	1	交流があるかわからない 無理に定型発達児と関わらせる必要はないの でニーズがあればよいと思う イベントに参加させてくれている	今年も他事業所との交流、地域のイベントに参加していきたいと思 います
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1		1	面談の時に説明がある	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1			必ず様子を伝えてくれる	今年は保護者参観もあり、利用者の様子などを見ていただく機会があったので、今後も保護者様にも様子を見る機会を作っていきたいと思 います。 また難しい保護者の方には連絡帳・送迎を利用 して報告を日々行っていこうと思 います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3			時間をかけて面談している 苦手分野や伸ばしたいところについて、より専門的なアドバイスが欲しい 面談を行うのであればそのタムを教えてください 連絡帳・送迎時で支援の仕方を教えてくれる	日々の報告ももちろんだが、今後は事前に定期面談を行っていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	6		父母の会・保護者会はないと思う 参観日があった	交流会のニーズがあれば開催させていただきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			4	いつも丁寧に対応している 苦情がないのでわからない 迅速で丁寧に対応している 苦情は聞いたことがない 言葉にも配慮があり「ご相談が…」と切り出して くれた	引き続き適切な対応をしていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11				管理者が対応してくれている 送迎時に子どもが分かりやすい対応を伝えて くれる	引き続き適切な対応をしていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10			1	こぼんだよりで様子が分かりやすい 行事予定はよく案内しているが、じこひょうか の結果のタムが不明 こぼんだより楽しみにしている ホームページで発信されている	ホームページでは開示しておりますが、今年度は 配付もさせていただきます。 今後も定期的な情報発信をさせていただきます ですが、方法については皆様のご意見を伺い ながら検討させていただきます。
14 個人情報に十分注意しているか	10			1	今までに漏れたことがない	今後も情報管理を徹底してまいります。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2		5	防犯・感染症マニュアルはあるのか?	緊急連絡先や一時避難場所を記載した案内状を作成し配付します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		4	災害時にどうすれば(お迎えなど)良いのか忘れてしまうので、防災の日などで伝えて欲しい 避難訓練の写真があるこぼんだよりがある	緊急連絡先や一時避難場所を記載した案内状を作成し配付します。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11				通ったり電車や外出を楽しみにしている 最近は楽しそうに行っている様子が見られる いつも子供をかわいがっていただき感謝している いつも楽しそう とても楽しみにしている	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後も子どもたちが楽しく通っていただける教室作り に努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	11				安心して預けられるので働くことができている ニコニコ楽しそうに通っている、子どもはこぼんも先生方も大好きで通わせて良かったと思う 先生方がいつも笑顔で丁寧 しっかりと成長している 子どもを肯定しながら正しい行動に導いている	嬉しいご意見ありがとうございます。 今後も子どもたちが楽しく通っていただける教室作り に努めていきます。

148 20 8 22

75%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら蒲生第3教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	人数が多い場合は2チーム・3チームに分けて活動している おやつもチームで時間をずらして食べている 個別で訓練を行う部屋を用意し、又、難しい場合は仕切りを作り分けられるようにしている 人数が多い時など年齢や児童の特性などに合わせた活動を分けたり、スペースを分けたり工夫している スペースに適した人数になるように、可能な限り子どもの分散などがなされている 利用人数を考えるとスペースが狭く感じる。机を使用後すぐに片づけたり教室内に物を置かないなどの工夫をしている	みんなが一緒に動く(活動する)際狭さを感じやすいため、安全に配慮し声掛けなどをスペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切である	4		職員の人数が少ない場合は、リズムウォークで過ごしている イレギュラーな時(様子)の際は、スケジュール変更を行い安全に過ごせるよう努めている 児童の人数でスタッフの人数がきちんと調整されている 少ないと感じることもあるが、他教室と連携し必要最低限の人数配置はなされている 利用者の特性などで職員数が足りないと感じる時も多いが必要最低限はいると思う	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		玄関の一部を除き段差はなく、水道もかざすと自動で流れる造りになっている等、バリアフリー化の配慮がなされている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		スタッフで共有されている 全体で取り組む内容については職員が集まれる日にミーティングを設定し意見を出し合っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	夏休みに行った、利用者好きなこと、やりたいことアンケートでは、保護者の意向を聞くことができ、1人1人に寄り添えたと思う スタッフで共有されている 全体での共有は現在していない	今後は話し合いの場を多く設けていき業務改善に反映させていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	公開しているが、見つけにくく知らない保護者もいると思う。 こぼんはうすさくらHP内にて2022年度のものは公開確認済み HPの存在自体を知らない	今年の自己評価表は印刷し配付させていただきます。 併せてHPがあることを伝えさせていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	虐待防止など、全員がシフトで揃えているところで行っている 研修を受けている 関連冊子の閲覧や書籍の読書可能且つ、動画での研修の希望も可能	引き続き、必要な研修を実施していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	利用日等で保護者のニーズにこたえられていると思う 保護者からの「こうしたい」を聞き、できることを伸ばせていると思う 職員から共有されている	アセスメントを行い計画書を作成していたが、職員間での共有が適切にできていなかった。 職員で共有できる時間を設けます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	知能検査・発達検査は行っていない 職員から共有されている 支援に入っている職員個人十全体でアセスメントを実施・評価する際には発達段階アセスメントシートを用いてMTを行っている	職員や保護者からの聞き取りから適応行動などを把握しておりますが、アセスメントツールとして知能検査・発達検査の結果は使用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		可能・不可能を確認しながら立案し、コミュニケーションをとることができている 職員から共有されている 長期休暇の際には全員で大まかな流れを設定するミーティングがなされている、そのほかについてはチームの中で代わる代わるプログラムの設定を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	前日に散歩へ行っていないからと配慮し、メンバーを変更している 職員から共有されている 活動プログラムの軸となる部分については固定となっているが、そのほかの部分については一定にならないよう工夫がなされている 固定化されている	あえて固定化しているプログラムもある為、その他のプログラムは今後も固定化しないよう工夫していこうと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		月目標や個々の伸ばしたいところがある 職員から共有されている それぞれの時間でできるプログラム内容を事前に決定し支援を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		必要に応じ個別プログラムを取り入れている 職員から共有されている 人数・様子にもよることもあるが個別での活動も設定している。また、集団の予定でも子どもの様子的に難しい場合は個別に変更もされている	

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		不穏になってしまった利用者への対応、帰りの送迎がスムーズに動けるよう、事前打ち合わせで確認できている 職員から共有されている 支援開始前にミーティングの時間を設け、支援の内容やその日の注意する点の確認が行われることがほとんど		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		日報にも記入し情報共有を行っている 職員から共有されている 支援終了後、その日気になった点や今後の注意すべき点、対応が困難な点など話し合うことができています		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		毎日日報の記入を行い情報共有や支援の見直しをしている 職員から共有されている 内容の変更があった際の記入、又、支援で起こった内容については他の職員の話も聞いた上で記録し、それを各自確認している		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		支援計画の見直しをしている 職員から共有されている		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3		職員から共有されている 自立支援と日常生活の充実・余暇は基本的に毎回入っており、休日などの時間が長い日は創作活動や地域交流も入る支援内容となっている		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		送迎時など保護者からの情報共有が多い 学校からは年間行事予定表を渡してもらっており、送迎時には担当教員からその日の児童の様子が連絡される		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1		実際に医療的ケアの必要な利用者はいませんが、今後対応が必要な子どもが利用する場合、保護者・主治医との連携を整えます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1	保護者からの共有が多い	事業所内で共有しているが保育所(幼稚園)等との情報共有が少ないため、今後は就学前に情報共有していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	越谷市内の児童館を利用 児童館や公園にはよく行くが、障害のない子どもとの活動はあまりない	あえて定型発達の児童と交流をもつことはせず、他事業の放デイなどとの交流を増やしています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		日々の連絡帳や送迎時にコミュニケーションをとっている 送迎がある職員はその際に保護者の方と交流し共通理解を図っている(ない場合は連絡帳で図っている)		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		現在は行ってないが、必要に応じて支援していきます。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		連絡帳や別途の手紙より日々の支援・利用者負担などの説明を行っている (実費負担が発生する時は前日までに事前に連絡をしている)	
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2			
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	参観を通じて保護者同士がコミュニケーションをとれる場所がある	来年度も保護者参観を行う予定です。 保護者から要望があれば支援していきます。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		事が起きてしまった際の状況を整理したのち今後の体制・対応を確立している (当日・近日中に行っている)	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月に1度「こぼんだより」という名前で主に写真で活動風景を伝えている 不定期ではあるがこぼんだよりを発行し保護者の方に子どもたちの様子を写真としてお知らせしている		
35		個人情報に十分注意している	5		個人ファイルの持ち出しは行っていない 個別ファイルの保管や、書類の破棄はシュレッダーを用いるなどし注意をしている		

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		言葉選びは特に気を付けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		行事(ハロウィン)に関しては地域の方に協力いただいておりますが、運営や招待は行っていません。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	職員から共有されている伝えられているマニュアルはあるが周知が不十分	来年度は周知徹底し、保護者へも手紙を配付します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年に2回地震・火災を想定して避難訓練を行っている 定期的に子供たちのいる中での避難訓練を行い非常災害に備えている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待防止研修を受ける時間を設け取り組んでいる	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	4	職員から共有されている	拘束が必要となる利用者がいない為、どこまでが身体拘束になるかを虐待防止マニュアルの話し合い時に決定してする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	アレルギーの有無を保護者からうかがうことはあっても医師からの指示書があるか不明	保護者からの聞き取りのみでアレルギーに対応しているが今後指示書に基づいて対応するかは保護者に確認し検討していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ファイルを事務所に置き共有できるようにしている 危険があった際は担当者やその場にいた人を確認し話し合ったうえで、ヒヤリハットに記入を行っている		